

令和7年度 職員採用案内



【大隅】SEA TO SUMMIT for Children

 National Institution For Youth Education
国立青少年教育振興機構





独立行政法人国立青少年教育振興機構 理事長 古川 和

当機構は、我が国における「青少年教育の振興」及び「健全な青少年の育成」を図るための青少年教育政策の実施機関として、国立オリンピック記念青少年総合センター、国立青年の家、国立少年自然の家の3法人が統合し、平成18年4月に発足しました。全国各地にある山・川・海の自然あふれる27の地方施設と東京都にある国立オリンピック青少年総合センターを有し、自然体験活動や集団宿泊活動をはじめ、科学・文化芸術・国際交流といった多様な体験活動の機会と場を提供しています。

世界的な猛威を振った新型コロナウイルスも収束し、アフターコロナとなった現在、リアルでの体験活動の重要性は非常に高まっています。人工知能によって社会の価値観も大きく変容しつつあるなか、生きる力を育むリアルでの体験はより価値を増していくと考えます。青少年を取り巻く環境が加速度的に変化する中で当機構が求められていることは、「誰一人取り残すことなく、すべての子供たちに良質な体験を提供すること」です。これまでの伝統を受け継ぎつつも社会の課題をしっかりと捉えニーズを掘り起こすために、当機構は多様な人々との協働によるオープンイノベーションを推進し、青少年教育の新たな価値を創造してまいります。

青少年教育のナショナルセンターとして我が国の青少年教育をリードする当機構の職員には、今日の青少年の課題を的確に把握し、解決に向け積極的に取り組む力が求められます。その力は、機構職員としての専門性に加え、課題意識に基づく向上心とチャレンジ精神が基盤となります。

次世代のリーダーとなる皆さんも、我が国の将来を描く仕事に、私たちと共に取り組んでいきましょう。

青少年機構について

目的

国立青少年教育振興機構は、我が国の青少年教育のナショナルセンターとして、青少年を巡る様々な課題に対応するため、青少年に対し教育的な観点から、より総合的・体系的な一貫性のある体験活動等の機会や場を提供するとともに、青少年教育指導者の養成及び資質向上、青少年教育に関する調査及び研究、関係機関・団体等との連携促進、青少年教育団体が行う活動に対する助成を行い、もって我が国の青少年教育の振興及び青少年の健全育成を図ることを目指しています。

組織

独立行政法人国立青少年教育振興機構

国立オリンピック記念青少年総合センター

都市型の青少年教育施設として、青少年及び青少年教育指導者等の研修及び体験の場と機会を提供しています。
(全国1か所)

国立青少年交流の家

ボランティア活動や就労体験といった交流体験を中心とした教育プログラムの企画・実施を行っています。
(全国13か所)

国立青少年自然の家

野外活動や環境学習といった自然体験を中心とした教育プログラムの企画・実施を行っています。
(全国14か所)

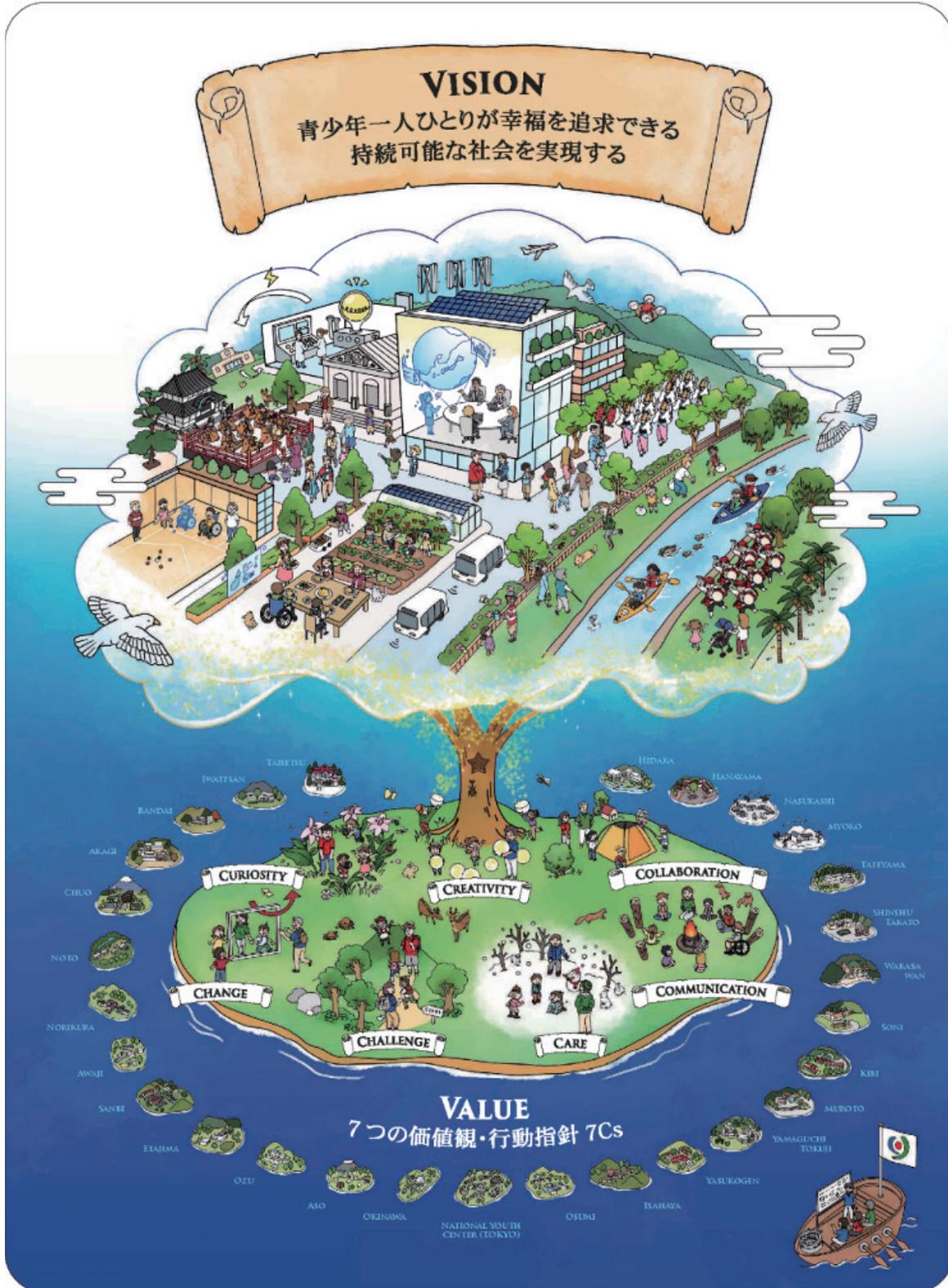


(写真：国立曾爾青少年自然の家)



※施設名をクリックすると各施設ウェブサイトがご覧いただけます

<p>Mission ＜使命＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・青少年教育の振興 ・健全な青少年の育成 	<p>Vision ＜目指すもの＞</p> <p>青少年一人ひとりが幸福を追求できる 持続可能な社会を実現する</p>	<p>Value ＜価値観、行動指針＞</p> <p>7Cs</p>
<p>Commitment ＜公約＞</p> <p>私たちはミッション・ビジョンを達成するために、 28施設が一つの船に乗って 7Csを羅針盤に 七つの海(7Seas)を渡っていきます</p> 		 <ul style="list-style-type: none"> ①Curiosity 私たちは、何事にも好奇心を持ち、 ②Change 枠にとらわれずに変化し ③Challenge 失敗を恐れずにチャレンジします。 ④Care 私たちは、すべての人々を思いやり ⑤Communication 多様性を重んじ、対話と共感を大切にします。 ⑥Collaboration 私たちは、多様な人々や組織と協働し ⑦Creativity 青少年のさらなる体験の場を創造していきます。



1. 教育事業

青少年の課題や国の政策課題に対応しつつ、立地条件及び地域特性やニーズに対応した、青少年の体験活動事業や青少年教育指導者等の養成事業を実施しています。

(1) 青少年教育に関するモデル的事業の推進

① 実践研究事業

関係機関・団体や公立青少年教育施設等、大学の研究者等と連携した上で実践研究事業を全地方施設で実施しています。

令和4年度事例 ◀ あかぎ無限大キャンプ

- 施設名: 国立赤城青少年交流の家
 - 参加者: 小学校5・6年生 24名
- 自然体験活動(小学5、6年生24名を対象に5泊6日で実施)が「社会的能力の変容」や「近視の抑制」にどのような影響があるかについて、大学等との協働により調査を実施しました。



② 特色あるプログラム事業

地域の教育的課題に対応したプログラムを推進するため、特色あるプログラム事業を全地方施設で実施しています。

令和4年度事例 ◀ 森と火山のミステリーツアー

～謎解きゲームで十勝岳のジオを学ぶ～

- 施設名: 国立大雪青少年交流の家
- 参加者: 小学校4年生～中学校2年生 25名

「ジオ教育」をテーマに周辺森林のハイキングや軽登山の活動をより教育的なものとして活用するため、火山の噴火によってできた岩石の様子が観察できる地点や生物の痕跡が見られる地点等を学習ポイントとして定め、写真と解説を記載し2つのコースを設定した「大雪の森ジオマップ」を作成しており、本事業でも2つのコースをそれぞれ課題設定して歩きました。



③ 全国高校生体験活動顕彰制度「地域探究プログラム」

郷土や自然に愛着を持ち、新たな価値を創造できる高校生の育成を目指し、高等学校の「総合的な探究の時間」における「探究」の手法を取り入れたプログラムとなっています。

令和4年度事例 ◀ オリエンテーション合宿 (高校生ふるさと探究プロジェクト)

- 施設名: 国立磐梯青少年交流の家
 - 参加者: 高校生21名
- 高校生が地域の課題解決等に関する体験活動を通して、課題発見・問題解決能力を高め、地域の新たな課題や魅力に気づき、未来のふるさとを活性化させる資質を養うという趣旨のもと、福島県内の高校生21名が2泊3日の合宿に参加しました。



(2) 課題を抱える青少年を支援する体験活動事業の推進

青少年を取り巻く今日的課題に対応するため、企画の段階から専門機関等と連携し、特定の状況下にある青少年に対する体験活動事業を実施しています。

(3) グローバル人材の育成を見据えた国際交流の推進

国内外の関係機関・団体等と連携して、青少年や青少年教育指導者等の相互交流を行う事業、青少年の異文化理解を促進する体験型の交流事業を実施しています。

(4) 青少年教育指導者等の養成及び資質の向上

青少年に良質な体験活動の機会と場を提供するためには、安全管理をはじめ、質の高い指導者を養成することが必要であることから、国公立の青少年教育施設や青少年教育団体等の指導者を対象とした研修事業や青少年指導者になるための養成研修等の事業を実施しています。

(5) 青少年の体験活動等の重要性に係る普及・啓発

青少年の体験活動や読書活動、基本的な生活習慣等の重要性について普及・啓発を行う事業を実施しています。

(6) 子供の貧困対策

近年、「子供の貧困対策に関する大綱」や「すべての子どもの安心と希望の実現プロジェクト」が策定され、子供の貧困に対する取組が政府全体で進められています。

当機構においては、子供たちの生活習慣の確立や体験活動の充実のため、①「生活・自立支援キャンプ」、②子どもゆめ基金による支援、③学生サポーター制度の3つの事業を行っています。

「体験の風をおこそう」運動



当機構では、子供たちの健やかな成長にとって体験がいかに重要であるかを広く家庭や社会に伝え、社会全体で体験活動を推進する機運を高める「体験の風をおこそう」運動を青少年団体と連携して進めています。

「早寝早起き朝ごはん」国民運動



子供たちの健やかな成長には、「早寝早起き」をすることや「朝ごはん」を食べることなどの基本的な生活習慣を身に付けることが重要です。当機構では、「早寝早起き朝ごはん」全国協議会の事務局を運営し、この国民運動を積極的に推進しています。

2. 研修支援

学校や青少年団体、青少年教育関係者等が、目的やねらいに応じた主体的で効果的な活動を行うことができるよう、全国28か所にある教育施設において広く学習の場や機会を提供し、研修目的達成に向けた、より効果的なプログラムの提案や教育的指導・助言等を行っています。また、社会性や規則正しい生活習慣を身につけることができるよう、共同での宿泊や朝夕のつどいの場や、標準生活時間を設けています。

研修目的の達成に向けた教育指導・助言

初めて研修を行う団体、これまで以上に研修効果を深めたい団体等、利用団体のニーズに合わせた効果的な研修が実施できるよう教育的な指導・助言を行っています。

- ①効果的な研修計画策定のための支援 ②指導者等の指導力向上のための支援

活動プログラム例

・登山・ハイキング

自分の能力を最大限に発揮することで達成感を味わうことができます。
また、自然を観察しながら森を散策することで豊かな感性を育てることもできます。

・カッター

10～20人ほどでオール（櫂）を漕いで進む艇のことで、仲間と協力することの大切さを学んだり、全力を出し切ることで大きな達成感を得ることができます。

・沢登り・沢あそび

源流の探検や、水辺の生き物観察などを通して、自然の中で感性を育み、環境を大切にすることを養うことができます。

・文化・芸術体験

貝殻や枝木を使った写真立て作り、和紙工芸、化学おもちゃ作り等のクラフト活動は創造性を豊かにし、感性や表現力を養うことができます。また、地域と連携した歴史・文化学習等を実施することもできます。

地方教育施設の主な設備

宿泊施設／研修・会議室／野外活動施設／
キャンプ場・野外炊事場 他
※施設により多少異なります



3. 調査研究

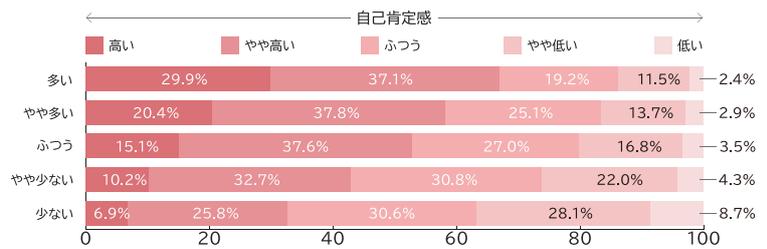
青少年教育に関する基盤的及び課題別の調査研究を行い、その成果を広く提供・活用することにより青少年教育の振興を図っています。

〈主な調査結果〉

○自然体験や生活体験、文化芸術体験が豊富な子供、お手伝いを多く行っている子供は、自己肯定感が高く、自律的行動習慣や探究力が身についている傾向があることがわかりました。

↑
自然体験
↓

自然体験と自己肯定感の関係(小4～小6、中2、高2)



「青少年の体験活動等に関する意識調査(令和元年度調査)」報告書(令和3年3月発行)より

4. 子どもゆめ基金事業

未来を担う夢を持った子供の健全育成を推進するため、民間団体が実施する自然の中でのキャンプや科学実験教室等の体験活動、絵本の読み聞かせ会等の読書活動、子ども向け教材を開発・普及する活動への支援を行っています。

令和4年度 申請・採択状況 (一次募集・二次募集)

活動分野	申請件数	採択件数	採択率	交付決定額(千円)
子どもの体験活動	4,078	3,055	74.9%	1,238,885
子どもの読書活動	413	323	78.2%	151,968
教材開発・普及活動	25	13	52.0%	78,948
合計	4,516	3,391	75.1%	1,469,801



7泊8日のゆったりした時間の中で
～心を育むどんぐりキャンプ～



びわこビブリオ道場
2022 秋の風

組織図

役員

理事長

理事

監事

国立オリンピック記念青少年総合センター

所長

所長代理

地方施設

国立青少年交流の家(13施設) 国立青少年自然の家(14施設)

所長

次長

● 交流の家

大雪・岩手山・磐梯・赤城・能登・乗鞍・中央
淡路・三瓶・江田島・大洲・阿蘇・沖縄

● 自然の家

日高・花山・那須甲子・信州高遠・妙高・立山
若狭湾・曾爾・吉備・山口徳地・室戸・夜須高原
諫早・大隅

本部

経営企画室

監査室

総務部

総務課
人事課

財務部

財務課
└ 調達管理室
施設管理課

教育事業部

事業企画課
調査情報課

子どもゆめ基金部

国際・企画課
助成課

オリンピックセンター運営部

業務課
事業連携課

青少年教育研究センター

企画室

国民運動等推進室

求める人物像

- 我が国の青少年教育をリードする気概をもち、常に向上心とチャレンジ精神をもって何事にも取り組める人
- 時代の変化を敏感にとらえ、多様な視点で柔軟に物事を考えることができる人
- 機構職員としての専門性を高めるとともに、自身の将来についてのビジョンを描くことができる人
- 課題意識をもって主体的に行動し業務を遂行できる人
- 笑顔で挨拶、そして思いやりの心をもって積極的にコミュニケーションを図り、信頼関係を築くことができる人



キャリアパス

勤務成績や年齢等により、図のとおり上位ポストへと順に昇任していくことになります。
人事異動は、組織の活性化と人材育成の観点から、約2～3年ごとにあり、様々な業務を経験します。



※キャリアパスは、イメージであり、各人の経験、希望及び勤務成績等により個人ごとに異なります。

先輩職員の声

(令和6年2月現在)



尾中 純一

国立阿蘇青少年交流の家
次長

ある1日の仕事のスケジュール

8:30	始業・朝礼	利用者の動向や一日の業務を確認します。
9:30	職員会議	業務の進捗確認や課題等を明らかにします。利用者サービスにおける改善案等を職員みんなで考えます。
11:00	事務業務	書類決裁を行います。
12:00	休憩	放牧された牛たちを眺めながら、のんびりしています。
13:30	打合せ	事業担当者と企画内容の打合せをします。意見を出し合ってみなで形にします。
15:00	打合せ	関係機関を訪問し、打ち合わせをします。各関係機関との連携はとても重要です。
16:00	事務業務	書類決裁を行います。
17:15	終業	

◎現在どのような仕事をしていますか？

当施設は、ユネスコジオパーク認定の阿蘇地域に立地し、自然を活かした教育プログラムに注力しています。利用者の学びが深まるよう、関係機関との連携やプログラム開発、予算管理等の施設運営に取り組んでいます。

◎ありたい職場の姿とはどのようなものですか？

子供達が「感動」できる職場を目指しています。噴煙の上がる火山の麓で様々な体験をとおして、「地球は生きているんだ」「自然って偉大なんだ」と思える体験プログラムを職員一丸となって考えたいです。

◎機構職員を目指す方へのメッセージ

「自然が好き」「子供と関わる仕事がしたい」。そんなあなたの想いを形にできる職場です。楽しいことも悩むことも勿論ありますが、まずは私達と一歩踏み出してみませんか。きっと、あなたのチカラを発揮できます。



石黒 奈々

国立那須甲子青少年自然の家
総務係長

ある1日の仕事のスケジュール

8:30	始業	出後はメールのチェックを行います。所内外から様々な仕事が入ってきます。
9:00	雪かき(冬季のみ)	利用者の動線確保のため職員総出で雪かきをします。
10:00	宿泊室点検	利用後の宿泊棟が綺麗に清掃されているかをチェックします。
12:00	休憩	昼食後は森の中を散歩してリフレッシュします。
13:30	職員会議	資料の取りまとめ、司会進行等を行います。
15:00	デスクワーク	人事発令文書や照会物回答作成等のデスクワークを行います。
17:15	終業	職員の出動簿処理の最終チェック等を行い、退勤します。

◎現在どのような仕事をしていますか？

施設職員の人事・給与・福祉はもとより、施設全体の運営に関わる会議運営や、利用者対応のサポートとして退所点検や雪かきなど多岐にわたる仕事があります。教育事業を推進する職員を支える大切な仕事です。

◎育児休業後仕事に復帰し、仕事と子育てをどのように両立していますか？

勤務時間内に業務をこなせるよう、効率的な仕事の仕方が身に付きました。時には家庭の都合により、在宅勤務や子供同伴の出勤などフレキシブルな働き方を認めていただき、両立することができています。

◎今後の抱負と併せて、将来育児休業の取得を考えている方へのメッセージ

育児の多忙は一時の事、自身のキャリアの全体を見据えて、何とか次につなげていくことが大切だと思います。機構には様々なサポートシステムが備わっていますので、自身のスキルを長く生かせるように頑張りましょう。



花岡 和

国立大雪青少年交流の家
事業推進係員

ある1日の仕事のスケジュール

8:30	始業	宿泊団体の情報等について全職員で共有します。
8:45	退所手続き	退所する団体の請求書の発行やアンケートの収集を行います。
9:00	デスクワーク	電話・メールの問い合わせや書類の処理などを行います。
11:00	定時点検	利用者の方が気持ちよく施設を利用できるように点検します。
13:00	利用者対応	野外炊事などのプログラム指導や窓口対応などを行います。
14:30	打合せ	打ち合わせやフィールドの下見などを行います。
16:00	入所手続き	団体の代表者の方と入所の手続きや施設の使い方のオリエンテーションなどを行います。
17:15	終業	机上の整理と翌日の業務内容を確認し、帰宅します。

◎現在どのような仕事をしていますか？

主に、利用に係る書類の処理、電話や窓口対応など施設を利用される団体の活動をサポートする業務を行っています。また、北海道内各地のイベントなどに出向き、青少年の体験活動の普及に取り組んでいます。

◎今後どのような職員になりたいですか？

施設が属する地域を中心に多くの青少年関係団体、事業参加者として地元の子ども達が施設を利用しています。今後も体験活動の普及に取り組むために地域と施設の繋がりを大事にし、地域に愛される職員になりたいです。

◎機構職員を目指す方へのメッセージ

施設を利用する子ども達が、多くの体験から成功や失敗を繰り返し成長していく姿を間近で見ることができます。一人でも多くの子ども達に「体験」を届けられるよう一緒に盛り上げていきましょう。



佐藤 千帆乃

本部総務部人事課
人事企画係員

ある1日の仕事のスケジュール

9:00	始業	メールチェックや1日のスケジュール、ToDoリスト等を確認します。
10:30	問い合わせ対応	問い合わせに対する回答を作成、先方に回答します。
12:00	休憩	敷地内のベンチで、景色を見ながら昼食を食べています。
14:00	打合せ	人事課で主催する研修内容について、業者と打合せします。
15:00	資料作成	打ち合わせした内容のとりまとめ、資料を作成します。
16:30	事務業務	非常勤職員の任免手続きに関して、人事給与システムへの登録を行います。
18:00	終業	翌日のスケジュール、ToDoリストを確認してから退勤します。

◎現在どのような仕事をしていますか？

非常勤職員の任免手続きや採用募集、職員向け研修の企画及び実施、その他人事関係の調査回答業務や労務管理等、給与や福祉以外の人事に関する業務を幅広く行っています。

◎今後どのような職員になりたいですか？

これまで人事の業務をしてきて、管理系の業務にやりがいを感じています。今後も様々な経験を積みながら、多くの知識や多角的な視点を身に付け、一つひとつの業務をより良く適切に対応できる職員になりたいです。

◎機構職員を目指す方へのメッセージ

青少年機構の業務は、子どもたちや教育事業に直接関わる仕事が多岐にわたるではありません。表舞台の裏側でも、青少年教育に熱意のある職員が日々業務を行っています。そんな青少年機構で、皆さんと一緒に働いてみませんか。



採用情報

業務内容

本部や施設における様々な仕事を通して、青少年教育の振興及び青少年の健全な育成を図るための活動、そしてそれらを支える組織運営を行います。多様な業務があり、大きくは次のように分けられます。

■ 教育事業業務

教育事業（企画事業・研修支援・連絡協力促進事業・調査研究・国際交流事業等）の企画・実施及び連絡調整等

■ 助成事業業務

本部の助成業務に係る企画・立案・管理及び調査、助成金の交付に関する業務および助成事業の審査等

■ 管理業務

総務・情報システム・人事・広報・財務・施設管理及び連絡調整等

勤務条件・福利厚生

■ 給 与

- ・初任給 月給 196,200 円（大学卒）
経歴等によって決定されます。また、勤務場所によって、これに地域手当が加算されます。
- ・諸手当 扶養手当、住居手当、通勤手当他
- ・昇 給 年1回
- ・賞 与 年2回（6月と12月）

■ 勤務地

機構本部（東京都渋谷区）又は全国28か所の青少年教育施設となります。

■ 勤務時間

- 9：00～17：45（実働7時間45分）
- ※職種や勤務場所によってはこれと異なる場合があります。

■ 休日休暇等

- ・完全週休2日、祝日、年末年始
- ・年次有給休暇、産前産後休暇、介護休暇、リフレッシュ休暇、ボランティア休暇、子の看護休暇、結婚休暇等
- ・介護休業、育児休業

■ 各種保険

- ・健康保険・年金（文部科学省共済組合）
- ・雇用保険
- ・労災保険

■ 共済事業

- ・給付（出産等）、積立貯金、貸付等各種の福祉事業
- ・国家公務員共済組合連合会の直営病院、宿泊施設等

■ 仕事と育児等の両立支援

職員の仕事と育児、介護、不妊治療の両立を支援するための勤務時間、休暇制度の整備のほか、仕事と育児の両立に関する相談窓口や相談員を配置するなど、男女問わず仕事と育児等の両立を支援するための取り組みを行っています。

選考案内等

国立青少年教育振興機構職員の採用は、当機構職員採用試験及び国立大学法人等職員採用試験から行います。国立大学法人等職員採用試験の各地区における採用予定人数は、各地区採用試験事務室ホームページをご確認ください。

国立青少年教育振興機構職員採用試験

【概要】

機構の業務に従事する職員を採用するための機構独自の試験

【受験資格】

- 年齢が概ね30歳までの者（青少年教育施設、団体等教育機関における職務経験を有する者はこれによらない）
- ご不明な点がございましたら総務部人事課までお問い合わせください。

【選考プロセス】（予定）

- ・受付（令和6年4月上旬～6月上旬）
- ・第一次試験 書類選考・適性検査（6月中旬～下旬）
- ・第二次試験 面接選考等（7月上旬）
- ・最終選考（7月下旬）、合格（7月下旬）

【試験情報】

最新情報は、機構採用情報 HP をご覧ください。
<https://www.niye.go.jp/about/recruit.html>

国立大学法人等職員採用試験

【概要】

国立大学法人及び独立行政法人等が合同で実施する試験で、北海道、東北、関東甲信越、東海・北陸、近畿、中国・四国、九州の7つの地区で実施

【受験資格】

平成6年（1994年）4月2日以降に生まれた者

【選考プロセス】

- ・受付（令和6年5月15日10時～5月29日17時）
- ・第一次試験 全試験区分共通の教養試験（7月7日）
※二次試験以降は一次試験合格者を対象に各法人が実施
- ・第二次試験 面接選考等（8月下旬）
- ・最終選考（8月下旬）、合格（8月下旬～9月上旬）

【注意事項】

採用地区は、関東甲信越地区を選択してください。他地区を選択した場合は、当機構第2次選考を受験することができません。

【試験情報】

最新情報は、国立大学法人等職員採用試験 HP をご覧ください。
<https://ssj.adm.u-tokyo.ac.jp/>

問い合わせ先

独立行政法人国立青少年教育振興機構 総務部人事課 令和6年3月発行
〒151-0052 東京都渋谷区代々木神園町3-1 TEL 03-6407-7642

各種情報はこちら➔ 国立青少年教育振興機構ホームページ
国立青少年教育振興機構公式 YouTube チャンネル
国立青少年教育振興機構 Facebook

<https://www.niye.go.jp/>
<https://www.niye.go.jp/movie/>
<https://www.facebook.com/niye.seishounen>